

科目名	内定先研修						年度	2026	
英語科目名	Practicum Training						学期	通年	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		

【科目の目的】

本科目では、内定先企業において卒業後の就業準備として業務活動に参加し、幅広い視点でスポーツの仕事との関わり方を意識し様々な状況に対応できる人材を目指す。また、志望する企業や業界に必要な情報を積極的に入手しながら、人との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学ぶことを目的とする。

【科目の概要】

内定先企業での研修に参加を通して具体的なプロジェクトやタスクに取り組むことで、仕事の流れや業界の慣習を理解し、自ら問題を解決する能力やチームとしてのコミュニケーションスキルを養う。また、企業からフィードバックを受け入れながら自己改善につなげる。

【到達目標】

到達目標 A: 教科書や授業で学んだ知識を実践的な業務に応用することで実務経験を身に付ける。
 到達目標 B: 自身の強みや成長の余地を見つけると同時に職場からのフィードバックを受入れ、成長を促進するための積極的な態度を持つ。
 到達目標 C: 業界や職場の文化や価値観を理解することで自身の興味や適性を確認し、企業内や業界関係者とのネットワーキングを通してキャリア形成につながる関係を築く。

【授業の注意点】

既定時間数の研修・セミナーに参加していない者は単位を取得できません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	教科書や授業で学んだ知識を実践的な業務に繋げて、具体的なプロジェクトやタスクに取り組むことが出来た。		教科書や授業で学んだ知識を実践的な業務に繋げることが出来た。		到達目標の達成度として不十分
到達目標 B	研修参加を通して自身の強みや成長の余地を見つけると同時に職場からのフィードバックを受入れ、実務面において成果を残すことが出来た。		研修参加を通して、自身の強みや成長の余地を見つけることが出来た。		到達目標の達成度として不十分
到達目標 C	業界や職場の文化や価値観を理解しながら、企業内や業界関係者とのネットワーキングを通してキャリア形成につながる関係を築くことが出来た。		業界や職場の文化や価値観を理解することで自身の興味や適性を確認することが出来た。		到達目標の達成度として不十分
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

成績評価については、レポートによる参加報告結果30%、企業側からの参加評価30%、参加終了後のクラスフィードバック20%、参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）20%とし、学習目標の達成度・到達度を総合的に判断して行う。なお、成績評価を受けるためには全授業の75%以上の出席が必要となる。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		内定先研修			年度	2026
英語表記		Practicum Training			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	学内外研修	学内外での研修	1 学外研修	スポーツ関連企業の採用担当者の下で実施される採用研修を受けることで、スポーツ業界で働く人材として必要な能力を高める。	2	
2					2	
3					2	
4					2	
5					2	
6					2	
7					2	
8					2	
9					2	
10					2	
11					2	
12					2	
13					2	
14					2	
15	まとめ	研修体験談の共有	1 研修体験の共有	研修参加について他者の感想も含めた研修体験の共有を通して、今後の改善策と社会人基礎力の向上を目指す。	2	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他 自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった 備考 等						